

とちぎ市議会だより

第59号(9月定例会)
2023.11.20発行

女子野球、 全カプレーに拍手!



特集

令和4年度決算を認定(決算審査)・・・2~3
 議員研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
 議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・14~15

一般会計補正予算(第5号)・・・・・・・・4
 (9月定例会で決まったこと)
 表紙写真の説明・・・・・・・・・・5
 13人の議員が市政を質す・・・・6~12
 (一般質問)



決算を認定

決算 審査

市長は、翌年度の予算を決める3月定例会までに、前年度の決算について、議会の認定を受けなければなりません。議長と議会から選出された監査委員を除いた26人の議員が決算特別委員会の委員となって、4つの分科会に分かれて専門的に審査しました。



認定第1号
令和4年度
一般会計決算

認定 賛成 23
反対 3

主な質疑

マイナンバーカード普及事業費

質 出張申請サポートと郵便局申請支援の実績は

答 出張申請サポートについては、市の施設や商業施設などで計56回実施し、3400人の申請を受け付けた。また、郵便局での申請支援は、本年1月19日から実施しているが、1月から3月までの3カ月間で772件の申請を支援した。

市有土地売却収入

質 未利用土地の売り払いの件数と面積は

答 昨年度は件数で46件、面積で4165.88平方メートルである。

不妊治療費助成事業費

質 制度を利用して出産に至った件数は

答 補助件数109件のうち、出産件数は29件である。

民生委員児童委員活動費

質 前年度決算額との差異の要因は

答 令和4年度に委員の一斉改選を行い、定員が1名減となったことが減少した主な要因である。

キヤッシュレス決済促進補助事業費

質 事業の効果は

答 約6800万円分のポイントを還元したものであるが、事業者からの報告によると、それに対する消費額は約3億7千万円であったとのことであり、市内への経済効果は認められる。

外国人児童生徒指導事業費

質 現在の状況は

答 本事業は、14カ国語に対応し、令和4年度に日本語指導が必要であった児童生徒は92人であった。

生活道路舗装補修事業費

質 補修の実施状況は

答 令和4年度は26カ所、延長7.6キロメートルの整備を実施した。

雨水貯留・浸透施設設置補助事業費

質 事業の目的は

答 雨水の流出を抑制し雨水の有効な活用を促進するため、雨水貯留施設や雨水浸透施設の設置費用の一部を補助するものである。



討論(認定第1号)

反対(白石議員・針谷育造議員)

(白石議員) 新型コロナウイルスの影響やロシアのウクライナへの軍事侵攻を発端とした物価高騰が現在も続く困難な状況の中で、市民の命と暮らし・営業をどう守っていくかが問われているが、令和4年度の決算については、その対応が不十分であったと言わざるを得ないため、本決算に反対する。

(針谷育造議員) ふるさと応援寄附事業費およびマイナポイント等設定支援事業費について、本当に市民のためになっているのかを再考すべきであり、国に廃止等を要望すべきだと考えることから反対する。

賛成(浅野議員)

本決算は、防災・減災対策、子育て支援、事業者支援、地域活性化対策などについて、ソフト事業とハード事業の両面で、効果的に取り組み、かつ、地域バランスにも配慮した施策が展開されており、高く評価したい。今後においても計画的に行財政改革を推進し財政基盤の安定に努めていただくとともに、市民福祉の向上を目指し、尽力いただくことを期待し、本決算に賛成する。

令和4年度の各会計

令和4年度に実施された主な事業 ※1万円未満切り捨て

第77回国民体育大会開催 関係事業費 4億6751万円

市内で正式競技4競技、デモンストレーションスポーツ2競技等を開催した。



RPA・AI整備事業費 432万円

定型的な事務作業を自動化するRPAやAI音声認識による文字起こし等を活用し事務の効率化を図った。



とちぎ秋まつり負担金 1700万円

実行委員会を組織して平成30年以来4年ぶりにとちぎ秋まつりを開催した。



コウノトリ生息地環境整備 事業費 436万円

人工巣塔周辺除草等の環境整備およびライブ配信可能なカメラを設置した。



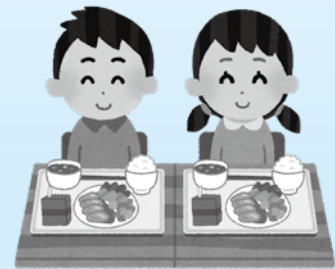
子どもの居場所運営事業費 1772万円

養育を支援することが必要な児童に対し、必要な支援を市内2カ所の事業所で行った。



学校給食物価高騰対策事業費 6043万円

物価高騰の影響による給食費値上げ分を支援した。



渡良瀬サイクルパーク管理 運営事業費 1281万円

渡良瀬サイクルパークの管理運営を委託し、コースの管理などを行った。



斎場再整備事業費 1523万円

将来の火葬需要の増加や現斎場の老朽化に対応するため、PFI手法により、新斎場の整備を行った。



スマートIC整備事業費 5355万円

東北自動車道都賀西方パーキングエリアにスマートインターチェンジを設置するための関係事業を行った。



9月定例会で決まったこと(主な議案等)

特集ページで取り上げたもののほか、9月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



一般会計補正予算(第5号)

議案第73号
令和5年度一般会計補正予算(第5号)



議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ23億628万1千円を追加し、予算総額を784億4307万5千円とする。

主な内容は、民間保育所等使用済おむつ処分事業費補助金、県単独農業農村整備事業費、スマートーC整備事業費、消防車等管理費、中学校設備省エネ化推進事業費などである。

主な質疑応答

質 消防車等管理費の事業内容は

答 はしご車に、経年劣化による不具合が見つかったため、分解修理を行うものである。

質 民間保育所等使用済おむつ処分事業費補助金の発表後の保護者等の反応は

答 おむつを持ち帰る手間がなくなり、保護者や保育士の負担が軽減されることから、高く評価されている。

質 産業支援補助事業費の補正予算計上の理由は

答 空き店舗活用促進事業補助金の令和5年度当初予算分は、すでに支出済みという状況の中、新たに複数の申請希望者があり、空き店舗の解消を推進するため、申請に至る可能性が高い3者分を計上するものである。

質 渡良瀬サイクルパーク改修事業費の改修の詳細は

答 既設トイレ棟を管理棟に改修するための実施設計業務委託を実施するものである。



陸上競技場改修工事

議案第82号 工事請負契約の締結(栃木市総合運動公園陸上競技場改修工事)



議案の概要

栃木市総合運動公園陸上競技場改修工事について、工事請負契約を締結することについて議会の議決を求めらるもの。

○契約方法 事後審査型条件付き一般競争入札

○契約金額 1億6852万円

○契約相手 株式会社岡建設

主な質疑応答

質 改修工事の目的は

答 陸上競技場第2種公認更新のための工事である。

公認陸上競技場とは

第1種から第4種まであり、日本陸上競技連盟が基準に基づき、公認競技会を開催するのに適した競技場であることを認められた競技場のこと。

方針の即時撤回を

請願第1号 部屋小学校の移転等の方針の即時撤回を求めらる請願書



主な意見

不採択とすべき(反対)

・市当局の進め方は、配慮と丁寧さが欠けていたのではないかと思う。
しかし、現時点で、今後、地元関係者による検討会議を開催し、まとめた意見について、地域住民の意向を確認するという方針が示されており、移転に賛成の保護者もいることから、即時撤回には反対する。
・コロナ禍であったことを考慮したとしても、地域への説明は不足しており、配布された通知にも紛らわしい点が見受けられた。しかし、部屋小学校の保護者に対するアンケートでは、移転に賛成の意向を示した方も多数あり、また、今後、地元関係者による検討会議において、学校生活と地域特性の両面から、子どもたちの安全安心を見据えたうえで方向性を見出してもらいたい。

本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、発言した議員名と討論が行われた議案等の番号は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 認定第1号 ●白石 幹男 議員 ●針谷 育造 議員 ○浅野 貴之 議員
 認定第2・3・4号 ●白石 幹男 議員 ○浅野 貴之 議員

議案等の審議結果

9月定例会では、議案16件、決算の認定9件、請願1件、議員案2件が審査されました。

賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

賛成：○ 反対：● 欠席：—

番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
			川田 俊介 真政クラブ	小太刀孝之 創政会	市村 隆 真政クラブ	雨宮 茂樹 公明党議員会	森戸 雅孝 真政クラブ	浅野 貴之 かがやき	小平 啓佑 自民未来	大浦 兼政 自民未来	針谷 育造 創志会	古沢ちい子 公明党議員会	大谷 好一 自民未来	坂東 一敏 かがやき	内海まさかず 創志会	小久保かおる 公明党議員会	青木 一男 自民未来	松本 喜一 自民未来	梅澤 米満 真政クラブ	天谷 浩明 無党派	針谷 正夫 かがやき	広瀬 義明 自民未来	氏家 晃 自民未来	福富 善明 真政クラブ	福田 裕司 創政会	中島 克訓 無党派	大阿久岩人 真政クラブ	小堀 良江 真政クラブ	白石 幹男 無党派	関口 孫一郎 自民未来
議案第81号	工事請負契約の締結について (清水川地下貯留施設整備工事)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	工事請負契約の締結について (栃木市総合運動公園陸上競技場改修工事)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和4年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和4年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和4年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和4年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	部屋小学校の移転等の方針の即時撤回を求める請願書	不採択	●	●	—	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	

議長のため採決には加わらない

※その他の議案21件は全会一致で可決されました。



女子野球、全力プレーに拍手!

今回の表紙の写真は、9月16日、17日の2日間に渡り開催された栃木市杯第3回栃木さくらカップ2023の中学の部の試合取材した際の写真です。

この大会は、今年で3回目を迎え、女子野球としては、国内最大級の大会だそうです。中学の部は全国から16チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

取材した地元チーム エイジェックユースは決勝戦まで勝ち上がりましたが、接戦の末、5対6で惜敗しました。来年は優勝目指してガンバレ!

(撮影協力: 栃木市杯第3回栃木さくらカップ2023 表紙撮影: 坂東・白石委員)





針谷 育造 議員
創志会

脱炭素なら何でもあり、市は責任が持てるのか

事業計画、予算計画は、どうなっており、市と市民、藤岡地域の住民に具体的にどんなメリットがあるのか。また、上限50億円、補助率3分の2というのは驚きであり、今までの補助事業では理解ができない。脱炭素なら何でもありとしか見えないが、根拠法令はどうなっているのか。さらには、この事業に栃木市として責任が持てるのか市の考えを伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

市域全体のカーボンニュートラル実現に向けて取り組んでいく

事業全体の予算計画については、提出される企画提案書を基に、市民問事業者間で内容等を精査のうえ、予算計画を作成していくことに

- マイナンバー
- 栃木市脱炭素先行地域づくり事業
- 県南広域的水道整備事業

なる。

具体的なメリットについては、市においては、本事業に取り組むことでカーボンニュートラルを進める先駆けとなるとともに、交付金を活用したエリア内の公共施設の脱炭素化を進めることにより、電気料金等の削減を見込むことができる。また、藤岡地域内の対象地区住民については、提案された事業にもよるが、再生設備等の導入や再生可能エネルギー由来の電力を使用することにより、電気料金の削減が見込まれる。交付金は、「二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金（地域脱炭素移行・再生エネ推進交付金）」交付要綱に基づき交付され、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」および同施行令が適用される。市としては、事業内容について広く説明を行ったうえで、事業選定に向け共同提案者を募集し、事業実施により市域全体のカーボンニュートラル実現に向けて取り組んでいく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



針谷 正夫 議員
かがやき

中山間地域に国・県のさらなる支援導入を

西方地域の真名子地区において、生産者と販売者で組織する農業者団体がさつまいもを干し芋に加工して農産物直売所等で販売する取り組みが、県の「魅力ある中山間地域づくり支援事業」の対象となった。

国や県の補助事業にはさまざまな地域づくり活動への支援があると理解している。中山間地域活性化に向けてさらなる支援を導入すべきと考えるが、執行部の見解を伺う。

答弁 増山副市長

取り組みに応じた支援の導入を図っていく

中山間地域では、高齢化や過疎化が進み、伝統文化などを次世代へ継承することや地域コミュニティを維持していくことが困難になりつつあ

- 中山間地の支援
- 未利用公共施設処分

る。真名子地区の取り組みについては、引き続き支援事業の活用を県に要望して行きたいと考えているが、県内には本市の7地区を含め、17市町に94地区の中山間地域があることから「魅力ある中山間地域づくり支援事業」を同じ地区で連続して活用するのは難しいと聞いている。

関連すると思われる補助事業には、国の「山村活性化支援交付金」をはじめ、県においても農村への誘客促進を図る事業や農村資源のPR事業など、中山間地域に活用できるメニューがあるため、今後においても支援事業の情報収集に努め、取り組みに応じた支援の導入を図っていく。





小太刀 孝之 議員
創政会

緑り返し発生している
道路冠水に対する対応を

6月から7月の短期間に本市に大雨警報が2回発令された。いずれも市内道路の冠水につながり、車が浸水し走行不能となっている。

こうした状況を防止するためにも、道路冠水が緑り返し発生している箇所の状況をリアルタイムに情報発信する必要性があると考ええる。また、道路冠水に対する注意喚起等の追加表示が必要ではないか。

危機管理の観点から情報発信と対応策について市の見解を伺う。

答弁 間中危機管理監

周知方法について
検討していく

道路冠水情報の発信は、市民の安全を守るためには、重要なことであり、リアルタイムに状況を確認でき

- 生活道路の補修
- 本市の危機管理
- ゼロカーボンシティ宣言への意識高揚

ることが効果的であると考えている。

リアルタイムの情報発信については、FMくららによる放送やCC9生活安全情報メールによる提供、道路への水位計やライブカメラの設置などが考えられる。

また、冠水箇所への車の進入を防ぐためには、通行車両への注意喚起が重要であり、表示灯や注意喚起看板の設置などの対策も必要であると考えている。

このようなことから、今後、県やケーブルテレビなどと連携調整を行うとともに、他自治体における取り組み事例などを参考に、ハザードマップへの掲載など周知方法について検討していく。



冠水した市内道路

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小久保かおる 議員
公明党議員会

支援が必要な方が
意思表示できるような工夫を

有権者の中には、視覚や聴覚に障がいがある方や高齢の方など投票に行くことを躊躇される方もいるのではないかと。

例えば入場券に必要な方がし点をに入れて「支援が必要である」と意思表示ができるようにすることや投票所でサポートを受けられる「投票支援カード」やイラストや文字を使用した「コミュニケーションボード」等誰もが安心して投票できる環境をつくることできないか伺う。

答弁 毛塚選挙管理委員会事務局長

投票支援カードの導入を
行っていく

障がいのある方や高齢者の方などが投票を行う際、困っている状況が見受けられる場合には、事務従事者

- 子育てしやすい環境
- 認知症患者及びその家族への支援
- 安全な自転車利用
- 投票しやすい環境づくり

が速やかに声掛けを行うなど、選挙人に寄り添った丁寧な対応に努めているが、選挙人によっては、自分の意思を的確に伝えることが難しいなどの理由から、投票に行くことを躊躇する場合もあることと思う。

そのようなことから、あらかじめ支援してほしい内容を記載した投票支援カードや入場券を、投票所において提示していただくことで、必要な支援が受けられるといった仕組みを導入することは、大変有意義であると考ええる。

今後においては、より気軽に安心して投票できる環境を整備するため、新たな取り組みとして、投票支援カードの導入を行っていく。





雨宮 茂樹 議員
公明党議員会

**データセンター誘致で
希望溢れる栃木市の未来を**

本市では、栃木インター産業団地にデータセンターを誘致するため、データセンター事業実施可能性調査を実施し、本年6月に「今後、関東近郊でデータセンター事業を新規展開する上で、もっとも適地と言える。」との報告書を公表した。

答弁 櫻井産業振興部長

**データセンター関連企業等
に対し、市長によるトップ
セールスを行った**

データセンター誘致については、日本データセンター協会に自治体会員として加盟し、6月5日の総会に

○防災減災への取り組み
●産業団地

において本市職員によるPR活動を行ったほか、栃木市東京サテライトオフィスの職員が、直接企業を訪問し、いくつかの企業から興味を持っていただいている。

また、8月3日に東京都新宿区で開催された栃木県主催による「とちぎ企業立地・魅力発信セミナー」において、データセンター関連企業等に対し、県内で唯一、市長によるトップセールスを行った。

さらに、経済産業省および総務省と誘致に係る戦略会議を開催し、情報交換を行っているほか、県とともに企業訪問を行うなど、国や県と連携を図りながら誘致を進めている。



栃木インター産業団地のイメージパース

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



内海まさかず 議員
創志会

**公務労働者、特に低賃金で働く
職員の処遇改善を**

8月初旬に今年度の人事院勧告が出された。公務員は、労働三権のうち、団結権、団体交渉権が認められているが、争議権、いわゆるスト権は認められていないため、公務員の賃金を含む労働条件は、民間のように

に労使の合意で決まるわけではなく、人事院勧告には労働者としての権利を補う意味もあるが、この勧告を受けてどのように対応するのか、改定方針およびその時期について伺う。

答弁 瀬下経営管理部長

**国の給与法改正の動向を踏
まえつつ、関係条例の改正
案を提出していく**

本年度の人事院勧告については、8月7日に人事院から示され、その主な内容は、国家公務員給与と民間給与との較差を解消するため、俸給表を引き上げ改定すること、民間のボーナス支給状況に見合うよう期末手当および勤労手当の支給月数を引き上げることとなっている。

本市においては、例年、人事院勧告に準じた市職員等の給与改定等を実施していることから、本年度においても、国の給与法改正の動向を踏まえつつ、給与条例等、関係条例の改正案を12月議会に提出したい。

また、職員団体とは事務担当者での意見交換を行っているが、正式な協議については今後行っていく予定である。

●市職員の待遇
○脱炭素先行地域づくり事業
○部屋小移転問題





関口孫一郎 議員
自民未来

渡良瀬遊水地内外で増殖する イノシシの対策を

近年、ラムサール条約登録湿地である渡良瀬遊水地とその周辺地域において、イノシシが出没する姿を住民が多数目撃している。

ラムサール条約登録湿地である渡良瀬遊水地と周辺地域では、害獣であるイノシシの捕獲および被害防止のためにどのような対策がとれるのか、また、両地域での対策の違いについても伺う。

答弁 櫻井産業振興部長

渡良瀬遊水地内では、狩猟 はできず、許可を受け、わ なで捕獲している

本市では、イノシシの被害防止対策として、捕獲を猟友会に委託しているほか、住民・農業者が侵入防止柵を設置する際の助成や、自治会や

- 渡良瀬遊水地の安全対策(公治水)
- 渡良瀬遊水地の安全対策(獣害)
- 多面的機能支払交付金事業

農業団体を対象とした獣害対策説明会の開催、自治会等を通じたチラシ配布、看板設置などの注意喚起を行っている。

一方で、渡良瀬遊水地内での対策については、ラムサール条約湿地の登録に当たり、野鳥を保護するため国指定鳥獣保護区に指定されていることから、狩猟はできず、区域内での捕獲は環境省の許可が必要となる。

さらに、河川区域であり捕獲のためのわなの設置には国土交通省の占有許可が必要となることから、環境省および国土交通省の各担当部署から許可を受けたうえで、猟友会藤岡支部に委託し、箱わなによる捕獲を行っている。また、昨年度からは、新たに渡良瀬遊水地連携捕獲協議会が許可を受け、わなを設置し、捕獲強化に取り組んでいる。



栃木市内に出没した野生のイノシシ

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



広瀬 義明 議員
自民未来

温暖化対策推進にプラスチック 分別回収が重要課題！

新聞報道によれば、県内でプラスチック分別回収が行われているのは、拠点回収を実施する3自治体のみという状況である。

本市においては、検討が開始されたばかりであると認識しているが、市内のスーパー等の一部ですでに分別が開始されているとの情報もある。地球環境を守る上で緊急課題であるとともに、昨年施行されたプラスチック資源循環促進法への対応が求められていることから、早期にプラスチック分別回収を実施すべきと考え、見解を伺う。

答弁 大豆生田生活環境部長

リサイクルを進める上で分 別回収は必須であると認識 している

- 栃木市のプラスチック廃棄物
- 竹木の枝の切除及び根の切取り

プラスチックの分別回収については、現状、容器包装リサイクル法に基づくペットボトル・食品用トレイのみ実施をしている。

令和4年度の回収実績は609・89t(トン)となっており、その内訳は、ペットボトル522・94t、食品用トレイ14・52t、可燃残渣72・43tとなっている。

もやすごみ、もやさないごみとして排出されているそのほかのプラスチック類についても、将来的にはリサイクルへの対応が必要であり、プラスチックのリサイクルに向けた環境整備を進めていく上で、分別回収は必須であると認識している。





白石 幹男 議員
無会派

带状疱疹ワクチン接種への 助成制度を導入せよ

今年度になって、带状疱疹ワクチン接種への助成制度を導入する自治体が増えている。

読売新聞の報道によると、助成制度を導入している自治体は、7月時点において254自治体で、3月時点と比較して4.5倍になっているとのことである。

県内の状況は、今年度から、那須塩原市、真岡市など、7自治体が導入に踏み切った。

本市としても、同様の助成制度を導入すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 首長保健福祉部長

市独自の高齢者支援として 前向きに検討する

带状疱疹ワクチンについては、国において定期接種化の議論も進んで

- 高齢者支援① 認知症予防、加齢性難聴者への補聴器購入補助
- 高齢者支援② 带状疱疹ワクチン接種への助成
- 高齢者支援③ 熱中症対策、エアコン購入補助
- 脱炭素先行地域づくり事業

いない状況であるので、本市でも独自の助成について、8月に開催した市の予防接種委員会において意見交換し、現在、関係医療機関等と調整を行っているところである。

带状疱疹は、免疫力低下時に発症しやすく、後遺症や重症化によって生活に支障をきたすことから、新たなニーズと受け止め、市独自の高齢者支援として任意接種の助成について前向きに検討していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



福富 善明 議員
真政クラブ

排水機場の着実な整備により 浸水被害の防止を

藤岡町部屋地区は、平成27年9月関東・東北豪雨災害の際、西前原排水機場の停止により、部屋小学校の校舎の浸水のほか、部屋上地区においても浸水被害が発生している。

今後の被害発生を防ぐために、西前原排水機場および石川排水機場の整備が進められているが、進捗状況について伺う。

答弁 櫻井産業振興部長

西前原排水機場・石川排水 機場ともに計画を立てて整 備を行っていく

現在の西前原排水機場については、平成29年から運用を開始しており、大雨により周辺地域に浸水被害が予想される際に、ポンプを稼働させ、被害を未然に防ぐよう本市の職員が

- 大雨被害に関する検証と対策
- 部屋小学校の移転問題

運転管理を行っている。今年度は、停電の際にも継続して運転できるよう、非常用電源の設置工事を行っており、来年度からの運用を予定している。

石川排水機場については、現在、県において新たな機場を整備しており、令和4年度から令和6年6月まで、堤防に樋管を設置する工事を行っている。その後、令和6年7月からは、場内の水路工事や建屋の建築工事、ポンプや除塵機、ゲートの設置工事などを行い、令和8年度中の完成を予定している。



西前原排水機場

24時間365日断らない
救急医療の実現を！



浅野 貴之 議員
かかやき

市民がTMC（とちぎメディカルセンター）しもつがに最も期待することは「24時間、365日断らない救急医療の実現」であると考えます。その傾向は第2次栃木市総合計画策定のための市民アンケート調査の結果において、明らかに示されている。政策医療を提供する栃木市は、TMCと一緒に課題を解決すべきと考え、本市を取り巻く救急医療の現状および充実に向けた取り組みについて伺う。

答弁 首長保健福祉部長

関係機関と連携して
体制強化に努めていく

市民アンケート調査においても、医療体制に関する重要度が高いことから、直接市民に関わる救急医療の

- 3病院統合の今までとこれから
- 栃木市中学生議会の開催
- 平和の尊さを伝える取り組み

充実を図ることが必要であると考えている。

TMCに受け入れ体制の強化を求めたところ、法人の基本方針にのっとり速やかに体制強化に着手いただいた。

具体的には、非常勤医師2人を増員するとともに、病院長が救急科を直接指揮する体制を執り、救急科と診療各科との連携強化を図ったと聞いている。その結果、救急搬送受け入れ数は令和3年度の2835人から、令和4年度は3449人と約600人増加した。

救急患者の受け入れ体制に支障が生じることがないよう地元医師会等関係機関と救急医療の在り方について協議を進め、体制強化に努めていく。



二次救急医療機関である
とちぎメディカルセンター

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



新斎場の利便性は



福田 裕司 議員
創政会

新斎場の供用開始に当たり、利用する市民への情報開示が重要である。新斎場の利用に当たり、どのような情報を開示するのか。また、新斎場のセルスポイントは、どのような内容なのか伺う。

答弁 大豆生田生活環境部長

利用される方が快適に過ごせるよう工夫した

利用について新斎場のホームページで空き状況が確認できること、利用料金はこれまで同様とし、火葬は無料、待合室は1室2時間以内3千円となること、霊柩車の廃止、藤岡および岩舟地域の方は、10月1日以降、佐野斎場が市外料金となり有料となるため新斎場を利用いただきたくこと等をお知らせしている。

セルスポイントは、ホームページ

- 信号機の無い横断歩道の交通事故
故抑止対策
- 新斎場の供用開始にあたって

ジで空き状況を随時確認できるとともに登録された葬祭業者にID等を交付し、パソコン等で24時間予約できるシステムを導入する。1日当たりの火葬受付件数も現在の2倍の16件とするが、特に要望の多い昼前後の件数が多くなるよう配慮している。火葬炉については、全8炉をコンピューターで監視・制御するが、火葬にかかる時間はこれまでどおり冷却時間を含め80分としている。

施設面ではキッズルームやベビールームを設置し、利用される方が快適に過ごせるよう工夫したほか、簡素な葬儀を行いたい方等への対応として小規模式場を1室設置している。



10月から供用が
開始された新斎場



市村 隆 議員
真政クラブ

**自主財源確保を図るため
具体的な施策を打ち出しては**

我々がやらなければならないことは次の世代にバトンを渡すための栃木市の礎を築くことである。職員間でもその思いを共有し未来へつないでほしい。

新しい施策を企画し担当課に渡す役目を担う市長直轄の部門を作るなどし、将来の自主財源確保を図るための具体的な施策を打ち出していただきたいと考えるが、具体的な財源確保方針について伺う。

答弁 大川市長

**安定した歳入の確保が喫緊
の課題となっている**

本市の財政運営は、歳入において、その多くを地方交付税や国庫支出金などの依存財源に頼る状況となっている。

○都市計画
●固定資産税と都市計画税

依存財源である地方交付税については、今後、合併算定替え特例措置の縮小による減少が見込まれているほか、自主財源である市税等についても、人口減少などの影響により同様の傾向が予測されることから、安定した歳入の確保が喫緊の課題となっている。

このため、第3次行政改革大綱・財政自立計画に基づき、市民の皆様に対する納税意識の高揚や納付環境の整備等による市税収納率の向上を図るとともに、未利用市有地の売却、市有財産を活用した広告収入の拡大等を図っている。

また、千塚産業団地は完売となったが、現在進めている栃木インター産業団地や平川産業団地においても、企業誘致の推進に力を入れ、今後の自主財源の確保につなげていく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



部屋小学校の移転等の方針の即時撤回を求める請願書
(提出者：毛塚 寛人)



【請願の趣旨】

- ・ 議会は、部屋小学校の移転等の方針の即時撤回を求めること。
- ・ 議会は、保護者および地域住民が理解・納得をするまで、部屋小学校の移転等に関する準備行為等を行わないことを求めること。

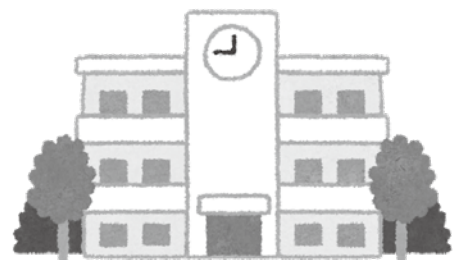
9月定例会に提出された本請願は、産業教育常任委員会において審査を行いました。

審査に先立ち、産業教育常任委員研究会を開催し、請願提出者から請願の趣旨などについて意見聴取を行いました。

委員会の審査では、「既に地元説明会等が実施され、今後、地元関係者による検討会議において、改めて協議・検討を行うことも決定している状況なので、移転方針の撤回を求める必要性はないものとする。」等の意見があり、不採択とすべきものとなりました。

また、本請願については、定例会最終日の本会議においても不採択となりましたが、本請願に関する調査を行うなかで、住民や保護者の立場から見て市の対応が十分ではなかったと評価せざるを得ない部分も見受けられたため、部屋小学校の移転等に係る今後の取り組みについて議会として執行部に申入れを行いました。

※主な意見や採決結果については、4・5ページをご覧ください。



▶ 栃木市政策フェローよりお話を伺いました（市議会議員DXセミナー）

7月12日に、市議会議員DXセミナーが開催され、DX（デジタルトランスフォーメーション）に向けた取り組みを進めるために、令和5年4月11日から政策フェローとして市に助言をいただいている陳内裕樹氏よりDXに関するお話を伺いました。

セミナーは、オンラインで陳内氏と会場をつないで実施し、DXの基礎知識や事例紹介が行われました。

セミナーで得た知識を今後の議会活動に活かしていきます。

政策フェローの講話を聞く議員



※DX（デジタルトランスフォーメーション）

デジタル技術を社会に浸透させることで人々の生活をよりよい方向に変化させること。

▶ 誰もが暮らしやすい社会を目指して（栃木市議会手話学習会）



講師に合わせて手話を行う議員

7月18日に、市議会議員手話学習会を開催しました。

学習会では、執行部から講師としてろう者の職員や手話通訳士など3人をお招きし、ろう者の職員よりろうの文化やコミュニケーション方法等について手話通訳士を通して説明を受けました。

あいさつなどの簡単な手話を教えていただいたほか、講師に合わせて市歌である「栃木市民の歌」についても手話で表現するなど、学習会を通して、ろうや手話に対する理解を深めることができました。

▶ 保健福祉部との意見交換会（民生常任委員研究会）

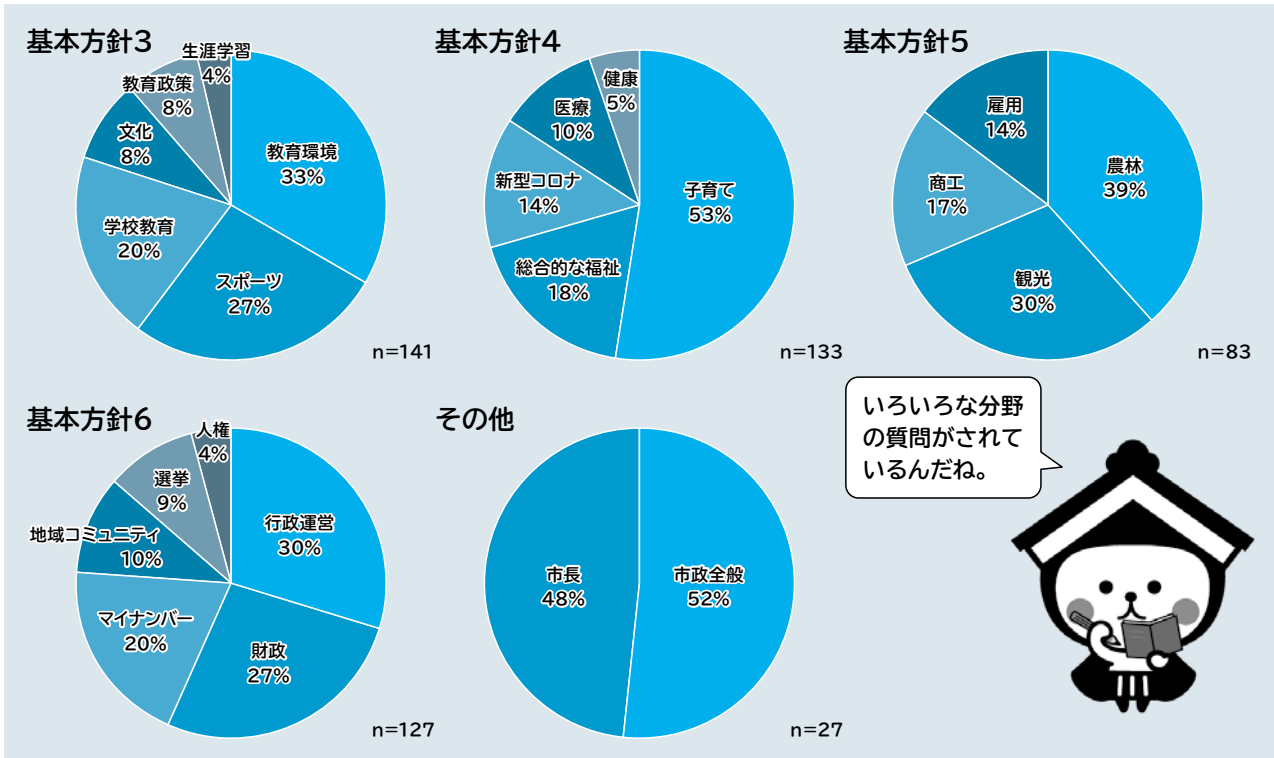
民生常任委員会では、7月26日に市保健福祉部各課と中長期的な事業の実施に関する意見交換を行いました。

意見交換会では、保健福祉部各課（福祉総務課、障がい福祉課、高齢介護課、地域包括ケア推進課、健康増進課）から事業に関する説明を受けたうえで、委員から各事業の詳細に関する質問等がありました。

意見交換会を実施したことにより、保健福祉部の所管する福祉・健康増進に関する事業の今後の展望について議会と執行部で共有することができました。

今回調査研究を行った事項については、今後の所管事務審査の参考としていくとともに、今後も継続して調査研究を行ってまいります。





■議会改革の取り組み

令和 4 年度の議会改革の取り組みについてご説明します。

議会改革を推進するために議長が意見を聞くための機関である「議会改革検討委員会」では、「予算・決算特別委員会」「常任委員会の強化」「投票率の向上」の 3 つの項目について検討を行いました。

▶項目 1 予算・決算特別委員会

○会派代表質疑から会派代表質問への変更

「質疑」は議題となっていることについて疑問点を聞くのにとどまるのに対して、「質問」は市政全般について質問し、それに対する個人の意見や要望を述べることができます。会派代表質問に変更することで、会派ごとの多様な考え方を反映することができるようになり、議論を深める効果が期待できます。

▶項目 2 常任委員会の強化

○研究課題の設定

各常任委員会で 2 年の任期中に少なくとも 1 つ研究課題を設定し、継続的に調査研究を行っていくこととしました。総務は「財政健全化について」、民生は「子育て支援について」、産業教育は「農業基盤の強化について」「学校教育の在り方について」、建設は「上下水道事業について」をテーマに調査研究を進めていきます。

▶項目 3 投票率の向上

○子ども議会の開催

若者世代における投票率の低さが全国的な課題となっていることから、政治に興味を持っていただくため、執行部に対して子ども議会の開催を提案し、本年 12 月 23 日に中学生議会が開催されることとなりました。議会としても、中学生議員に議会の役割や一般質問の書き方指導を行うなど、積極的に関わっていきます。

〈今年度の意見交換会について〉

意見交換会は執行部が行う「ふれあいトーク」との差別化を図り、双方向の意見交換を行うため、テーマと対象者を決めて行います。今年度のテーマは「人口減少社会のまちづくり」とし、未来の栃木市を支えていく若者世代の意見を聞くため、市内の高校 8 校に議員が訪問して、意見交換を行います。

令和5年度 栃木市議会報告会資料 概要版

栃木市議会では昨年度から議会報告会の開催方法をリニューアルし、議会報告を書面や動画などのさまざまな方法により発信しています。じっくり知りたい方は書面、手軽に知りたい方は動画など、自分のスタイルに合った方法を選択できるようにすることで、より多くの方に議会報告に触れていただきたいと思います。今回は報告内容の概要を紹介します。

市議会の役割と活動について ～一般質問の傾向と議会改革の取り組み～

詳しい内容や動画はこちらからアクセス



■一般質問の傾向

令和4年4月の改選後から令和5年9月までの一般質問において、どのような質問が行われてきたのか、その傾向についてご説明します。

一般質問は大きなテーマである質問要旨と要旨に関する具体的な質問である質問明細に分けられます。集計期間中、質問要旨で224件、質問明細で764件の質問が行われました。

今回は、質問明細を令和5年3月に策定された栃木市の最上位の計画である「第2次栃木市総合計画」における6つの基本方針別、さらにその中で分野別に分類しました。

▶「第2次栃木市総合計画」の概要

総合計画は、どのようなまちを目指すのか、それを実現するために何をするのかをまとめたもので、市政を運営するうえでの基本的な指針となる計画です。「第2次栃木市総合計画」で定められた10年後の目指すべき将来像と、それを実現するための6つの基本方針は下記のとおりです。

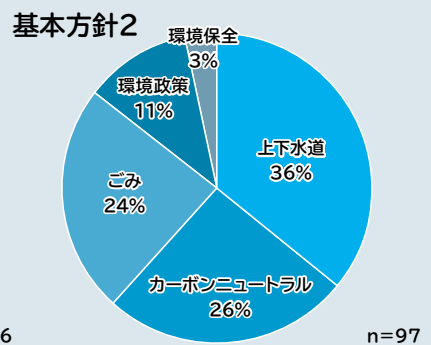
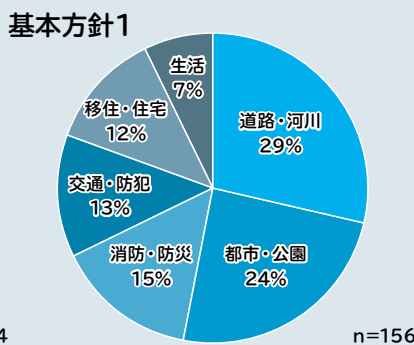
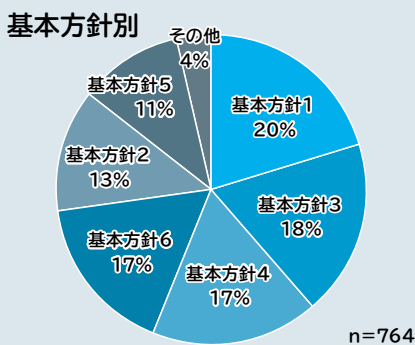
○目指すべき将来像 豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市

- 基本方針1 誰もが安全で安心して暮らせる栃木市
- 基本方針2 豊かな自然と共生する栃木市
- 基本方針3 一人ひとりが学び成長できる栃木市
- 基本方針4 子育てに優しくいつまでも健康で生きがいのもてる栃木市
- 基本方針5 地域資源を生かした賑わいと活力のある栃木市
- 基本方針6 参画と協働による持続可能な栃木市

10年後
どんなまちを
目指すのかな？



▶一般質問の分類





モニターインタビュー No.33

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。 (今回のインタビュアー：小平委員)



議会広報紙モニター
神山 美咲さん

Q：モニターを受けての感想は

A：以前は議会だよりをあまり読んでいませんでしたが、モニターとして読むようになり、議会や議員の普段の活動が分かるようになりました。

Q：若者が政治やまちづくりに参画しやすい施策について思うことは

A：就職する前に社会経験を積みたいと考えている大学生も多いため、市民活動を行っている他の大学生や社会人の方々が政治やまちづくりについて建設的な意見を交換できる機会があれば参加してみたいです。

Q：今後の栃木市に望むことは

A：就職活動を控えて、職種を選んで東京圏へ転居して就職を希望する学生は多いです。それでも人々のつながりに温かさを感じる地元で就職したいという気持ちもありますので、就職先の選択肢が多く持てるように、魅力的な産業の振興や企業誘致を積極的に進めてもらいたいです。

12月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日	月	火	水	木	金	土	
11/26	27	28	29	30	12/1	2	
				新聞折込	本会議 議案等提案		
3	4	5	6	7	8	9	
		本会議 『一般質問』					
10	11	12	13	14	15	16	
	常任委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)						
17	18	19	20	21	22	23	
			本会議 議案等採決				

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、11月30日(木)に新聞折り込みを予定しています。

一般質問の様子は、ケーブルテレビや市議会のホームページからもご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。



栃木市
マスコットキャラクター
とち介

栃木市議会広報委員会

9月議会は決算の議会です。昨年度(令和4年度)の各事業の執行について議会で審査し、認めるかどうかを判断しています。(認める場合は認定と言います。)

決算を審査する時点で事業は終わっているのですが、認定されなくても決算の効力に影響はありませんが、決算の重要な役割は議会で指摘されたことをこれからの事業に反映させるということです。

一般的には決算よりも予算審査に重点が置かれていると思われるのですが、より良い栃木市をつくるためには、慎重な決算審査が大切です。

議会としてもより良い決算審査を行えるよう改革に努めていきます。(内海まさかず記)

委員長 雨宮茂樹
副委員長 小太刀孝之
委員 川田俊介

写真アドバイザー

若松千草

白石幹男

青木一男

内海まさかず

坂東一敏

小平啓佑

浅野貴之

市村隆之

川田俊介

小太刀孝之

雨宮茂樹

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。 (TEL: 0282-21-2505)